

# TSKジョイント工法



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

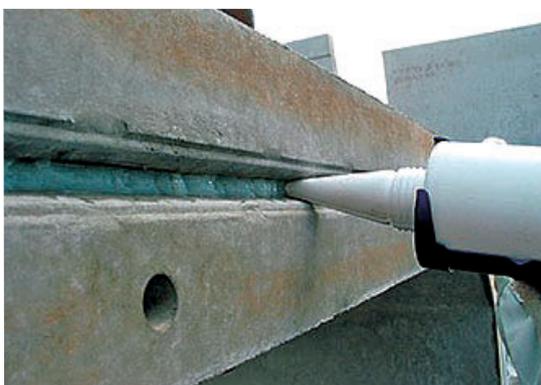
防災・減災・復旧

工法・その他

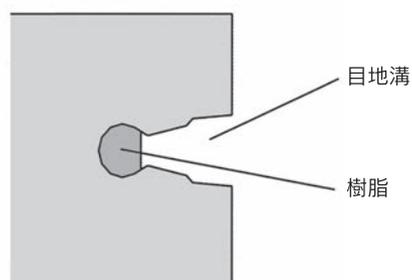
## 特長・ポイント

TSKジョイント工法は、地震動による継手部の拔出しおよび屈曲に対し、十分な水密性能が確保できる耐震及び可とう性ジョイント工法です。ボックスカルバート等プレキャストコンクリート製品の平滑な継手面に形成された溝に充填材を注入した後、ジョイントシール材をそう入・連結することによって製品個々に可とう性を有する柔軟な構造となります。これにより、レベル2地震動に追随した耐震性能を満足するものとなっています。

## 施工状況写真



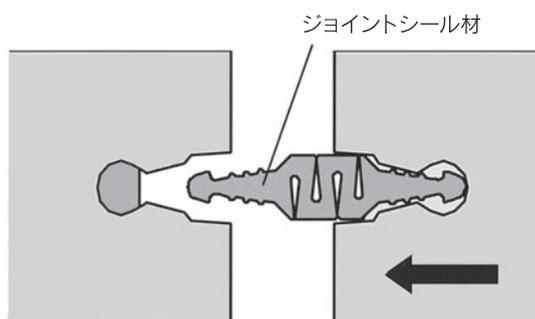
樹脂充填状況



目地溝形状



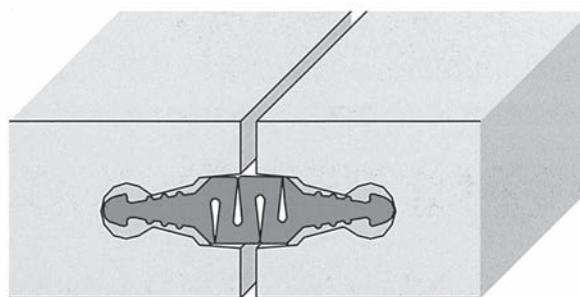
ジョイントシール材そう入状況



ジョイントシール材そう入



製品引寄せ状況



引寄せ後の継手

## 技術の特徴

- (1) **可とう性**: 継手部がそれぞれの条件で水圧 0.06MPaに耐える水密性を有する。
- 1) プレキャストボックスカルバート
    - ①標準位置: 目地間隔 5mm
    - ②水平拔出し: 50mm (目地間隔 55mm)
    - ③屈曲変位: 0.95° ~ 4.76°  
(頂版目地間隔5mm、底版目地間隔 55mm相当)
  - 2) 開きよ・管きよ・L型水路等製品
    - ①標準位置: 目地間隔 5mm
    - ②水平拔出し: 50mm (目地間隔 55mm)
    - ③複合変位: 50mm (目地間隔 55mm)  
(水平方向変位+垂直方向変位)
- (2) **耐震性**: 継手部がレベル2地震動に対する次の複合条件で水圧 0.06MPaに耐える水密性を有する。
- 1) プレキャストボックスカルバート
    - ①水平拔出し: 35mm (目地間隔 40mm)
    - ②屈曲変位: 0.24°
- (3) **物性**: ジョイントシール材に使用するゴムは JIS K 6353「水道用ゴム」(I類)に規定する物性を有する。
- (4) **内目土工省略**: 継手部の内目土工が省略できる。

## 技術の適用範囲

- (1) **可とう性**: プレキャストボックスカルバート、プレキャストコンクリート開きよ、プレキャストコンクリート管きよ、プレキャストコンクリートL型水路
- (2) **耐震性**: プレキャストボックスカルバート

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他